

公益社団法人 別府青年会議所 2017年度 理事長所信

理事長 森 憲司

【はじめに】

我々別府青年会議所は、創立40周年より2年目を迎えるにあたり、創立40周年にて振り返らせて頂いた諸先輩方の運動の歴史や築きあげてこられた誇を継承し、創立45周年に向け、今の時代に合わせ進化させていかなければなりません。

また、今年度は節目でもある第50回大分ブロック大会が別府青年会議所主管にて開催されます。県内外より注目を受ける中、昨年発災した熊本大分地震の復興に繋がり、別府から九州各地に元気を発信できるような記念すべき大会にするためにも、会員一同誠心誠意取り組んで参ります。

現在の我々の運動は小さく纏まり、情熱を注ぐ運動が地域に届いているのかと自問自答しており、我々の自己満足に陥っているのではと感じます。私が考える青年会議所とは地域に根付いた対外的に必要とされる価値を生み出す団体であると考えます。必要とされる運動を展開していくことが、別府青年会議所会員一人ひとりの企画力、判断力、行動力を身に付けることに繋がり、真のリーダーの育成に繋がると強く感じます。そして、組織自体を牽引し、次世代のリーダーを目指す人財がさらに強く熱い魂を伝播してくれると信じます。

近年、会員の減少には歯止めがかかっておらず、思うように新入会員も増えていない現状が続いており、深刻な問題となっております。民主主義の根底にある「数はちから」というように大きな波を作るのもすべては「人」です。本年度のスローガンである「ONLY ONE」が地域での別府青年会議所であることが、地域に魅力が伝播して、会員拡大にも繋がり、活気溢れるまちづくりに繋がると確信します。そして、我々の運動が地域に浸透するよう別府青年会議所を創造して参ります。

【継続的な会員拡大】

青年会議所の運動を行っていく上で、「人」は「ちから」であり、財産であります。しかしながら、メンバーの卒業に伴う会員減少に対し、新入会員増加のバランスがうまくいっておらず、組織運営にも影響が出ている状態となっております。これにはさまざまな現状や経済状況、また青年会議所の魅力を対外的に発信できていないからだと感じます。このためにも前年度から引き継いだ手法をさらに進化させ、新入会員目標を掲げ、全会員で取り組み発信して参ります。

【次世代に繋がるリーダーの育成】

リーダーの育成は青年会議所の中で必要不可欠な部分として行われてきました。しかしながら、会員の減少に伴い、青年会議所でのいろいろな経験を積んでいく前に役職についており、リーダーとしての想いや情熱が薄れてきているように感じます。またリーダーとしての背中を次世代のリーダーに魅せられていないとも感じます。今年度はさまざまな経験を積んでいく中で真のリーダーを育成し、さらに、その姿に魅せられた次世代のリーダーを育成して参ります。

【絆で繋がる会員交流】

他業種で構成される青年会議所は個々の考えを持った会員の集まりであります。さまざまな考えを持つことは組織を活発にする反面、纏まりを無くし、衰退の一途を辿ることに繋がりがかねません。やはり人と人を繋ぐのは絆ではないでしょうか。仲間がするのならと同じベクトルに向い、自ら心を動かすのも絆の「ちから」だと感じます。そのような絆で結ばれた会員交流をいろいろな手法を使い行って参ります。

【自立的な青少年の育成】

現在の子供たちは社会環境の変化や家庭環境の変化などにより家族間の交わりが希薄化し、またゆとり教育等もあり、自分で考え行動する子供が減ってきていると共に誰かから指示を受けないと何もしようとしない他力な無責任主義が蔓延していると感じます。これは子供たちが大人になり、社会に出た際に致命的な人格に繋がってしまいます。我々が子供を持つ親として、また責任世代であることを自覚して、子供たちに自立的な心を養う育成事業を行って参ります。

【構築型の国際交流】

我々は中華民国陽明山国際青年商會と大韓民国木浦青年会議所と姉妹締結を結んでおります。その絆は諸先輩方の永い歴史の中で培われてきました。近年では大韓民国木浦青年会議所との子供たちによるサッカーや野球交流が盛んに行われております。しかし、この事業を行う上での必要な資金もないのが現状です。両JC共に今後さらに進化した交流が求められているのではないのでしょうか。諸先輩方が培ってこられた歴史に傷をつけることなく、進化した構築型の交流を模索して参ります。

【既存財産再開発のまちづくり】

別府市は「国際観光温泉文化都市」を掲げる世界からみても資源豊かな都市であります。せっかくの資源がある「まち」に暮らす市民や我々が慣れからくる有難さを忘れかけていると感じます。別府市の中には複数のオンリーワンが存在し、そのオンリーワンを別府の財産でもある留学生と連携を図りながら再度掘り起して、我々の「まち」はもとより

世界に発信して参ります。

【規律ある組織づくり】

私が別府青年会議所に入会させて頂いた頃は、規律ある青年会議所でその中活躍しながら運動されていた先輩方がすごく格好良く感じたのを覚えています。しかし、現在では慣れ親しくなることの意味が少しずつずれてきているように感じます。当たり前のことを当たり前にするのは難しいですが、このずれをしっかりと修正して、格好良い規律ある別府青年会議所へと導いて参ります。またこのことが会員拡大にも繋がると確信します。

【おわりに】

第42代理事長を拝命し、改めてこの重責を心の底から感じております。まずは自らが己を律して会員の模範となれるように誠心誠意取り組んで参ります。そして永きに渡り別府青年会議所を支えてくださいました諸先輩方に感謝申し上げますと共に、更なるご支援・ご鞭撻を受け賜りますよう御願い申し上げます理事長所信とさせていただきます。